

■日刊建設通信新聞（2014年2月3日付）
オリコンサルと東芝 EVバス実証運行を開始

EVバス 実証運行を開始



オリコンサルと東芝

充電時間 従来比3分の1

オリエンタルコンサルタントは、EV（電気自動車）バスの普及に向け、一般の乗客を乗せた商用ベースの実証運行を、東芝と1日か

ら始めた。環境省から地球温暖化対策技術開発・実証研究事業を共同で受託した。事業期間は3年間で、従来よりも3分の1の時間で充電可能な超急速充電システムと、電池のリユースシステムの確立を目指している。

実証運行は港区の協力を得て、3月14日まで実施する。EVバスは1周17kmの路線を、平日は1日6便で走行する。走行時間は1周2時間程度、戻ってくるたびに5~8分で充電する。

オリコンサルは、異業種企業などと連携を深め、国内外で交通ソリューション事業、スマートコミュニティ創造事業を拡大する方針だ。

31日に東京都港区の芝公園で開いた出発式で、写真で「運行の計画、急速充電システムの配置、EVバス導入の許可申請、EVバ

スによる環境負荷低減の効果の4点を検討した。実証運行をモニタリングして、検討を深めたい」と述べた。

両社は2012年度に、